

令和5年度
事業報告書



練馬区立 上石神井第二保育園

運営受託 社会福祉法人 敬愛会

令和5年度事業報告書 目次

練馬区立上石神井第二保育園 令和5年度運営受託事業報告	1
1 子どもの最善の利益を大切にした保育	2
2 環境設備	10
3 危機管理・安全対策	11
4 給食実施	14
5 ICT の活用	15
6.情報発信	15
7 保育の質の向上と育成	16
8 保育施設としての機能の拡充と社会貢献	17
9 個人情報とプライバシーの保護	18
10 省資源への取り組み	18
11 職員管理	19
12 児童処遇	22
13 災害対策	24

【施設の概要】

施設名・所在地	練馬区立上石神井第二保育園 東京都練馬区上石神井1-5-3
施設の概要	延床面積 829㎡ 鉄筋コンクリート2階建の1・2階部分 (児童館・学童クラブ併設)
開園年月	昭和42年5月

練馬区立上石神井第二保育園 令和5年度運営受託事業報告

今年度は12名の新入職員を迎え入れ、新卒、経験者それぞれのキャリアを尊重しながら法人のモットーや保育の基本、方向性を具体的に示し実践につなげるよう努めた。

法人の基礎研修から始まり、人権研修、情報セキュリティ研修と定期的に学びを深めプロジェクト活動を通し、職員の一体感と保育の質の向上を目指した。

常に法人のモットー「品位品格を持って利用者の最善を考える。仲間とともに。そして自分自身のために。」の理解を確認する。

主体性を育む保育に必要な取り組み、不適切な対応など日々、保育の振り返りや、保育の相談等、グループウェアを活用し提案や問題解決に努めた。

法人内他施設との情報共有や交流、保育の質の統一に向け情報発信の必要性を強化した。

各年齢に応じた具体的な保育内容の統一が今後の課題。次年度以降、法人内で保育の基本を整備し、全職員が同じ認識を持ち保育の統一を図ることができるようにしていきたい。

また、プロジェクト活動（遊び、図書、食育、音楽）においては、職員への指導不足から全体的に活動が消極的であった。次年度は利用者の最善を考え積極的に新しい取り組みを進めていけるよう発信していく。

東京都第三者評価の受審結果においては、大変満足、満足が96.8%であった。

新入職員が多数いた中でも、法人の目指す方向性を理解し職員が子どもひとりひとりの心に寄り添い、発達を理解し適切な対応が図れたこと、保護者の思いを受け止め寄り添う姿勢が徹底されたことにより、多くの信頼を得る事につながったと考える。

施設内環境整備や安全面の点検は全職員が高い意識を持ち定期的実施をおこなう。特に防犯、防災、事故予防、感染症対策、情報セキュリティ等のリスクマネジメントに努めた。熱中症予防として園庭や2階保育室前に日よけを設置したことで安全な遊びの保障につながった。その他、コロナウイルス感染症が5類に移行後は、行事の運営においても改善を図り積極的に異年齢交流を計画した。また近隣の保育園とのドッチボール交流会や小学校を訪問し就学を見据え連携を図ることもできた。

反省点として、戸外活動中の骨折や頭部打撲等、受診件数が多く発生した。再発防止策を全職員で共有し、今後は事故予防のプロジェクトチームも積極的に発信し、ヒヤリハットの段階から対策強化を図る。また、練馬区提出書類準備が滞り、期日までに提出できなかったことがあった。事務処理スキルの弱さから意識が不足していたと言える。今後、業務管理、事前準備を徹底し、期日までに必ず提出するよう努めます。

令和6年4月

1. 子どもの最善の利益を大切にした保育

【保育の理念】

- ・子ども一人ひとりを大切に、健やかな育ちを支えます
- ・保護者の方の思いを受けとめて、子育てをサポートします
- ・保護者の方や地域の方と力を合わせて、子どもの最善の幸福のために努めます

【保育の基本方針】

「なかまと共に育ち合い、元気に遊べる子」

【練馬区保育目標】

- (1) 健康な子ども
 - (2) 意欲的で、心豊かな子ども
- *練馬区ではひとりひとりの子どもを大切にし、人との関わりの中で、上記目標の育成を目指しています。



【上石神井第二保育園の保育目標】

- (1) こころゆたかな子ども
- (2) からだがげんきな子ども
- (3) おともだちとなかよくあそべる子ども



「子ども主体の保育」の展開・保育内容の充実

法人内基礎研修、内部研修で保育の方向性、具体的な保育方法を学び、共通の認識を持ち、保育を展開させる。

(1)「子どもの主体性を育む保育」の実践

- ・ひとりひとりの心に寄り添う保育の展開
- ・年齢や発達段階に合わせた保育環境の整備
- ・年齢ごとの保育の基本を確認
- ・就学前までに身につけたいポイントの理解

(2)自主性・主体性の中で育まれる力を理解した上での保育の展開

- ・自分で考える力、自分の力で生きる
- ・自分を大切にする、周囲の人を大切にできる心
- ・好きなこと、得意なことを活かす

応答的な関わりの中で自分の存在を受け止めてもらうことが安心感の基盤につながり、自己肯定感が高まることを特に意識し保育を展開させた。



(3)0, 1, 2 歳児 少人数保育

- ・0 歳児・・5 名保育者が 3 名で個々の発達に合わせ丁寧な見守り
- ・1 歳児・・低月齢（おもに 12～3 月生まれの子ども）5 名は 0 歳児保育室で保育者 2 名とともに生活
- ・1 歳児・・15 名 2 グループに分かれ、分散して遊びや生活を展開
- ・2 歳児・・20 名 2 グループに分かれ、分散して遊びや生活を展開

安心できる保育者の見守りの中、子どもの興味・関心に応じ自己を十分に発揮できる環境の提供に努めた。

(4)専門指導(3, 4, 5歳対象)

それぞれの専門指導に楽しく参加することを目的として、講師とカリキュラムを組み、豊かな感性や表現力、集中力などが養われるよう指導を実施。



<体育指導> 年間 19 回(3.4.5 歳児対象)

ジャクパススポーツクラブ専門体育講師による指導。

マット運動、跳び箱、器械体操、ゲーム、運動会に向けた練習を年間カリキュラムに沿って実施。

月	活動内容	ねらい
4 月	・座り方 ・集団ゲーム	・体育時の座り方を覚える。 ・笛の音に合わせて行動することに慣れる。 ・体を動かすことが楽しいと感じる。
5 月	・マット運動 ・模倣運動	・マットの特性に気付かせ、柔軟性や平衡感覚、巧緻性を養う。 ・模倣動作を行なうことにより、基本的な運動能力を高める
6 月	・跳び箱運動 ・組み体操練習	・ジャンプをして高いものに乗る運動能力を養う。 ・馬の姿勢を身につけ、技の人数が多くなった時の準備をする。
7 月	・プール	・水を怖がらないように楽しく水慣れをさせる。 ・シャワーを怖がらず頭から浴びられる。
9 月	・運動会練習	・全員で力を合わせて行なうことの楽しさや充実感を味わう。
10 月	・鉄棒運動	・鉄棒の正しい掴み方を覚える。 ・腕で自分の体重を支える力を養う。
11 月	・長縄運動 ・跳び箱運動 ・鉄棒運動	・縄を見て、縄に合わせて跳べるようにする。 ・走る、着手、跳ぶ、着地といった連続した運動をすることで体の調整力を養う。
12 月	・長縄運動 ・短縄運動	・縄を使い、手足目の協応動作を養う。 ・縄の特性を知る。
1 月	・短縄運動 ・ボール運動	・縄を使い、手足目の協応動作を養う。 ・ボールを怖がらずに捕ることができる。
2 月	・ボール運動	・ルールを守り、楽しくゲームを行なう。 ・お友だちと協力しあい、ゲームを楽しむ。
3 月	・まとめ マット、跳び箱	・全身運動をすることで体力を養う。 ・約束や順番を守って楽しく体を動かす。

<リズム指導>年間10回

音楽に合わせて楽しく全身の運動機能の発達を促したり考える力、自分で判断する力、集中力を養う。



月	ねらい	活動内容
4月	基本動作	・基本動作を知る (きんぎょ、どんぐり、かめ、わに)
5月	全身を動かす	・話をよく聞き、動く
6月	曲を聞き動く	・番号を覚えて動く ・ルールを理解して動く
7月	協力して動く	・友だちと一緒に動く楽しさを味わう
9月	足や腕の力を養う	・足や腕の力を使い動き、体の発達を促す
10月	音を聞き動く	・音の高低を聞き分け動く
11月	スキップする	・歩く、走る、スキップする動作を楽しむ
12月	2、3人組の動きを楽しむ	・音楽に合わせて2人組、3人組の動きを楽しむ
2月	基本動作の確認をする	・基本動作の動きを確認し、全身運動を楽しむ。
3月	一年のまとめ	・一年を通して覚えた動きを復習する。

<美術指導>年間10回(4.5歳児)年間5回(3歳児)

アトリエパン美育研究所 専門美術講師による指導
身近な素材に触れ、自由にのびのびと表現することを楽しむ。



月	活動内容	ねらい
4月	4歳児色デザイン「カラフルな鳥」 5歳児絵画「窓からこんにちは」	・糊やはさみの使い方を知る。
5月	4歳児「絵画の基礎を知ろう」 5歳児「絵画の基礎を知ろう」	・絵具や筆を使う際のルールを知る。
6月	4歳児絵画造形「めずらしい虫」 5歳児絵画「動物マスク」	・糊やはさみの使い方を確認しながら立体表現を楽しむ。
7月	4歳児造形工作「水そうバック」 5歳児造形画「りすさんのお家」	・お話をイメージしながら自由に表現することを楽しむ。
9月	4歳児絵画「宇宙へ飛び出そう」 5歳児造形絵画「魔法のなべ」	・想像力をめぐらし自由に表現することを楽しむ。
10月	3歳児造形絵画「素敵なパフェ」 4歳児絵画「トンネルの向こう」	・絵画の基礎、空間認識を理解し表現する。 ・からだの作り方や動きを確認しながら

	5 歳児表現絵画「どんな寝坊かな」	描く。
11 月	3 歳児浮き出る絵画「宇宙船」 4 歳児水墨画風絵画「忍者の世界」 5 歳児絵画「夕陽の中の木」	<ul style="list-style-type: none"> クレヨン、黒絵具で描画表現を楽しむ。 段ボールを使い、ダイナミックな色の混色で夕陽を表現する。
12 月	3 歳児絵画「ケーキのお城」 4 歳児造形「ケーキの帽子」 5 歳児アクリル絵画「自画像」	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな想像力を育み、自由な創作力を育む。 自分を鏡で観察し偶然性を楽しむ。
2 月	3 歳児お料理造形 「フライパンでお料理」 4 歳児工作「ジェットコースター」 5 歳児未来絵画「 鏡に映る大人になった自分」	<ul style="list-style-type: none"> 発想力やアイデアを大切に、作品作りを楽しむ。 就学前に横向きを描画体験をし、自由な体の動きを知る。
3 月	3 歳児造形「ちぎりかいじゅう」 4 歳児絵画 「身体ってどうなっているの」 5 歳児粘土造形「シーサー」	<ul style="list-style-type: none"> 指先の巧緻性を養い、自由な表現力を育てる。 粘土の感触を楽しむ。



(5)障害児保育

3 歳児 1 名、5 歳児 1 名の計 2 名の認定児を受け入れる。

年間 2 回の巡回指導に加え、3 歳児は通所療育機関との連携を図り、定期的に訪問支援を受ける。

合理的配慮を要する子どもを含め、園全体がひとりひとりの心に寄り添う丁寧な保育を実践し、障害児保育の充実につなげることができた。

3 歳児 本児の気持ちに寄り添い、視線を友達の行動に向け、さまざまな場面と一緒に楽しむ経験を重ねる保育に努めた結果、イレギュラーな発生に対しても柔軟な対応力が身につき、見通しを持ち安定した生活の保障につながった。

5 歳児 就学を見据え、保護者との面談を定期的実施し、集団生活における課題の情報共有に努める。運動会の組立体操やバルーン、リレーは段階的に本児の意見を尊重したうえで参加を促し、友達と目的を共有し達成感を味わう心地よさを経験することができた。
また、自身の気持ちを言語化し、相手に伝える事の重要性を日々の保育で培う対応に努めた。

(6)年間行事

活動月	行事実施状況	活動月	行事実施状況
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園進級祝い会 ・前期保護者会(3.4.5歳児) ・全園児健康診断 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・お店屋さんごっこ ・お弁当遠足(3.4.5歳児)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当遠足(4.5歳児) ・新入進級記念写真撮影 ・前期保護者会(0.1.2歳児) 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診 ・環境学習 ・観劇
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診 ・プール開き 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・キラキラ会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕会食 ・夏まつり 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年こども会 ・大きくなった会 ・後期保護者会(0.5歳児)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・プール納め 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分 ・後期保護者会(1.2.3.4歳児)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉防災訓練 ・全園児健康診断 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園式 ・お別れ会食 ・お別れ散歩
毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・誕生会 ・身体測定 ・0歳児健診 		
定期	<ul style="list-style-type: none"> ・けやきひろば(子育て支援) ・不審者訓練 		

1期(4~6月)

新入園児21名を迎え、新年度がスタートする。
保護者と密に連絡をとり、ひとりひとりの気持ちに丁寧に寄り添い、園生活に慣れることに努めた。



2期(7~9月)

保育者との関係が構築され、安心できる環境の中で活動の幅がひろがり、その中で自己を十分に発揮する姿が見られた。
夏まつりは5歳児の子ども達が企画、準備、開催し手作りのお神輿担ぎ、縁日を開き、園全体で夏ならではの遊びを楽しんだ。



3期(10~12月)

運動会や大きくなった等の行事に向けて、子ども達が主体となり内容や道具作りなどを楽しみ、友達と一緒に同じ目的に向かう面白さややり遂げた達成感を味わうことができた。

4期(1~3月)

一年のまとめの時期、進級、就学に向けた見通しを持ち保育を進める。
基本的な感染症対策を講じた上で、大きくなった会(3.4.5歳児)卒園式等を実施した。後期保護者会では、一年間の取り組み、子どもの育ちなど、園生活を振り返る。

(4)プロジェクト活動

想像力・創造力や思考力、探求心、好奇心など、各プロジェクト活動と子どもの発達を結びつけた取り組みを進める。

〈図書プロジェクト活動報告〉

活動月	活動内容	活動報告
8月	・貸出図書の準備	・貸出図書の整理
9月	・貸出図書開始 ・貸出図書のジャンル分け ・クラス図書の管理	・コドモンにて貸出図書開始の連絡を配信 ・傷んだ絵本の修理 ・各クラスに依頼し、クラス図書の整理整頓と分類分け、傷んでいる本の修理
10月	・貸出図書 ・読み聞かせ講習の実施	・貸出図書 ・貸出図書のジャンルを分類 ・「読み聞かせ」の研修受講者が職員向けに読み聞かせ研修を実施 ・クラス図書を年齢の合ったクラスに移動し、廃棄する本を分別し処分
11月	・貸出図書	・貸出図書 ・貸出図書のジャンルの分類終了
12月	・貸出図書 ・新規購入の図書を検討	・貸出図書 ・補充したいジャンル、本の選定 ・食育関係の増本を決定
1月	・貸出図書 ・新規購入図書の決定	・貸出図書 ・購入希望図書のリスト作成
2月	・貸出図書	・貸出図書
3月	・貸出図書	・貸出図書

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更になり、貸し出し図書を再開。さまざまなジャンルの絵本、図鑑を充実させ、想像力や感性を育み、興味関心や知識の向上を図る。

〈実施状況・改善点〉

図書の充実を図り、年齢に合わせた本の提供の見直しを進めた。

一年をとおして、図書の管理は実施できたが、絵本の読み聞かせや子ども達の想像力や感性を育むための取り組みにまでは至らなかった。

次年度は年齢に合わせた絵本や図鑑を揃え、好きな絵本をじっくりと読み込める環境の整備、絵本の読み聞かせのスキルを磨き、子ども達が多く絵本に触れ興味関心を深められるよう活動を進める。



〈音楽プロジェクト活動報告〉

音や楽器に触れる機会を持ち、音楽の楽しさを知ることがを目的に一年間取り組みを進める。

活動月	活動内容	活動報告
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌「どんぐりころころ」 ・童謡を楽しむ ・音楽に合わせて体を動かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はないちもんめ」で遊ぶ（4.5歳児） ・日頃の保育でわらべ歌、手遊び歌を意識しておこなう
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌「きのこ」「おばけなんてないさ」 ・楽器に触れる事を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・すず、タン布林、カスタネットの持ち方、音の出し方を覚える ・上手な歌い方の指導 ・手遊び「さかながはねて」「手をたたきましょう」を各クラスで実施
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌「あわてんぼうのサンタクロース」「ねえ、サンタクロースのおじいさん」「赤鼻のトナカイ」 ・音楽プロジェクトによる合奏 ・わらべ歌を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽プロジェクトメンバーが「ゆうき100%」を合奏した（ピアノ、大太鼓、小太鼓、シンバル、タンバリン、鈴、鉄琴、木琴、ツリーチャイム使用） ・年長児に保育者の合奏を見せることで、合奏のイメージを膨らませる
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌「お正月」「十二支のうた」 ・廃材を使った楽器作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・十二支のうたを覚える ・わらべ歌「なべなべそこぬけ」「だるまさんがころんだ」 ・音の出る玩具に合わせ、歌を歌う
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌「ゆき」「ゆきのペンキやさん」「まめまき」「鬼のパンツ」 ・廃材を使った楽器作り ・音楽に合わせて体を揺らし、リズム遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもちゃのチャチャチャ」をプロジェクトメンバーが合奏 ・廃材でカスタネットを作る（3.4歳児）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌「ひなまつり」「春が来た」 ・廃材を使った楽器作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃材でマラカス、カスタネットを作る（1歳児クラス）

〈実施状況・改善点〉

職員による楽器演奏、手作り楽器制作を実施。

わらべ歌、手遊び歌を積極的に取り入れ、4、5歳児は「はないちもんめ」等、伝承遊びに触れる機会も持つ。

クラスの枠を越えたプロジェクト活動までには至らなかったため、次年度は様々な音楽に触れる機会を定期的実施し、音に触れる心地よさや音楽の楽しさを伝え、豊かな感性を育む。



〈食育プロジェクト活動報告〉

季節の野菜や料理に興味を持ち、食への関心をひろげる。
収穫した冬野菜で野菜洗いや調理を体験する。

活動月	活動内容	活動報告
10月	・秋の野菜スタンプ	・野菜スタンプを楽しむ
12月	・冬の野菜洗い (4.5歳児) ・調理保育(5歳児)	・人参と大根を水洗いし泥を落とす ・自分たちが洗った野菜を給食で食べる
1月	・冬の野菜洗い(3歳児) ・冬の野菜シルエットクイズ ・おにぎりを握ろう (3.4.5歳児)	・野菜洗いを楽しみ、給食で食べる ・シルエットクイズで野菜に親しむ ・ラップを使っておにぎりを握る
3月	・野菜スタンプ(0.1.2歳児) ・おにぎりを握ろう (3.4.5歳児) ・パンにジャムを塗ろう (4.5歳児)	・旬の野菜を知る ・自分の好きな形におにぎりを握る ・ジャムを塗って楽しんで食べる

〈実施状況・改善点〉

旬の野菜に触れ親しみ、給食に使用される野菜洗いや野菜スタンプの体験を実施した。

年間を通した計画、実施に至らず、持続的な活動を実施することが課題。

食に関する掲示の見直し、栄養の話、食事のマナー等年齢や発達に合わせて食に興味関心がひろがる取り組みを次年度は実践する。



〈あそびプロジェクト活動報告〉

子ども達が主体的に遊ぶための環境整備、約束事の確認。
異年齢児の関わりをひろげるための取り組みを初めて実施した。

活動月	活動内容	活動報告
8月	・園庭整備 ・園庭遊具の整理整頓	・園庭あそびの環境の見直しや整備 ・遊具やボールのプレートを作って管理
9月	・園庭あそびや散歩先の約束事の 取り決め	・園庭の垣根や茂みでのかくれんぼについて、事故予防PJと連携し話し合う ・乳児と幼児のあそび方を規定、周知
10月	・異年齢で楽しめるあそびの企画	・あそびの内容の検討
11月	・異年齢で楽しめる 「みんなであそぼう」を実施	・室内…ボーリング、輪投げ、テレビの泉 ・園庭…動物のストラックアウト、牛乳 ケースのボーリング、サンドバッグ

12月	・「園庭あそびの約束事」の見直し	・既存の約束事を改訂 ・新しい遊具の約束事を追加
1月	・ボール遊びの環境整備	・ボールの購入 ・ボールエリアにネットを張る
2月	・砂場の環境整備 ・固定遊具のカバーの修繕	・砂場遊具の仕分け、片付け ・カバーの破損した箇所や紐を修繕し、遊具の劣化や雨除け対策

＜実施状況・改善点＞

玩具の管理、安全面、環境整備に力を入れ活動を実施したが保育環境整備が中心となり、子どもの遊びに着眼をおいた活動の実施が少なかった。

次年度は遊びの充実を図る活動、伝承遊び、シャボン玉、泥団子作り、絵本からつながるごっこ遊び、異年齢児交流等、遊びの展開を楽しめる活動を積極的に進める。



2. 環境設備

(1) 保育環境の設備

安心安全な環境の中で主体的に活動できる場を設定する

- ・コーナー保育の充実・年齢に適した玩具の提供。
- ・園庭の清掃、整備。
- ・絵本コーナーの充実。
様々なジャンルの絵本、図鑑を揃える。
- ・共有スペースの整理整頓、清掃。
- ・室内の棚、遊具棚の整理整頓。
5Sチェック（年4回）
- ・可動式遊具の設置。
- ・園庭西側に防護ネットを設置し、ボール遊びの充実を図る。
- ・熱中症予防対策として2階テラスにシェードを設置。
- ・月2回、安全点検チェックの実施。
- ・週1回、園庭遊具、用具の確認。
- ・加湿器購入、全クラスに設置。
- ・パーテーションを4台購入。個人面談、幼児クラス園児の着替え、行事、感染症対策に使用。



(2)施設整備

・補修工事

建物は練馬区管理につき、練馬区児童施設係、または練馬区公立保育所係に補修工事を依頼します。

月	工事内容
4月	調理室スチームコンベクション修理
	調理室ガス台修理
	調理室熱風保管庫パネル交換
	調理室手指洗浄修理
5月	衣類用乾燥機交換
6月	洗濯機交換
	給食室・休憩室・3歳児エアコン修理
7月	だれでもトイレ水漏れ修理
8月	廊下エアコンカバー交換
	調理室冷蔵庫修理
	門扉修理
	保育室ロッカー不具合部品交換
9月	0歳児電気交換機清掃
10月	給食室自動手洗い器部品交換
	園庭段差解消工事



備品購入

品名	個数	金額	用途
午睡用マット	22	291,588 円	1.3歳児用
日除けサンシェード	8	559,513 円	熱中症対策用
トランシーバー	2	104,091 円	災害対策用
Bluetooth イヤホン	13		

(3)食生活の充実・整備

- ・無農薬米の産地直送契約（山形県庄内地方）
- ・献立は練馬区の共通献立に基づき調理
- ・運動会 金メダルクッキーの提供



3. 危機管理・安全対策

(1)健康管理

- ・年2回全園児健康診断の実施
- ・年2回全園児歯科健診の実施
- ・園児の健康支援を園医および外部医療機関との連携により管理
- ・年間保健計画に基づき、計画的に健康教育、予防教育の普及

- ・月に1回細菌検査の実施（全職員対象）
- ・AED 訓練の実施（4月実施）
- ・嘔吐物処理の徹底

健康教育実施状況

月	内容	対象クラス
4月	生活リズムを整えましょう	5歳児
6月	歯磨き指導	2～5歳児
6月	プライベートゾーン	3～5歳児
6月	プールのやくそく	3～5歳児
7月	熱中症に気をつけよう	3～5歳児
9月	救急の話 応急処置について	5歳児
10月	手洗い指導	3歳児
10月	目の話	5歳児
11月	手洗い指導	2～5歳児
12月	おしりの拭き方	4歳児
1月	鼻のかみ方	3～5歳児
2月	うがい指導	2歳児
3月	咳エチケット	2歳児
3月	正しい姿勢	4歳児

(2)感染症予防

園児には感染症対策プロジェクトチームでペーパーサートを用いた手洗い指導や、感染症について問題形式で掲示物を作成し貼りだし、園児が興味を持てるように努めた。保護者には保健だよりやコドモンで安全管理や感染対策についてのお知らせを周知し、意識向上に努めた。

- ・園児入室時の検温
- ・流行性疾患のファイル作成
- ・職員の嘔吐処理研修
- ・園児の感染症の健康教育
- ・咳エチケットの指導
- ・ドアノブ、手摺の消毒（1日4回）
- ・手洗後はすべてペーパータオルを使用
- ・基本的な感染症予防の徹底
- ・パーテーションの設置（3.4.5歳児）
- ・CO2 測定器の完備
- ・抗原検査の実施（5類移行まで）
- ・感染状況の掲示、保護者、職員への周知
- ・サーベイランスにて地域の感染状況の把握



(3) 防災

- ・ 毎月避難訓練を実施
- ・ 年 1 回、大規模災害発生を想定した保護者引き渡し訓練の実施（9 月）
- ・ 年 1 回、石神井川の氾濫を想定した水害による避難訓練の実施
- ・ 消火訓練（全職員対象）
- ・ 防災用品の確認
- ・ 組み立て式リアカー説明書作成、組み立ての練習
- ・ 保育用非常食の確認、新規購入
- ・ 蓄電器の確認 大型蓄電器の購入
- ・ トランシーバー用のインカムの購入
- ・ 避難経路の確認
- ・ 情報伝達訓練の実施（年 2 回）
練馬区一斉連絡メール、災害伝言板、災害伝言ダイヤルを使用し、保護者への情報伝達訓練を実施



(4) 防犯

- ・ 不審者訓練
- ・ さすまた訓練
- ・ 防犯グッズの確認
- ・ 防犯教育「いかのおすし」
- ・ 園庭の街灯（ポール）にテープを貼る（犯人の身長を目測する為）



(5) 事故予防

- ・ ヒヤリハット集計 注意喚起
- ・ 事故報告集計 振り返りと改善の徹底
- ・ 遊びプロジェクトと共同で園庭のルールの見直し



(6) 情報セキュリティ

- ・ パソコンやSDカードのデータの整理
- ・ 掲示物の管理

(7) 虐待防止

- ・ 地域子育てネットワーク連絡会議での情報交換
- ・ 行政、児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携強化
- ・ 個別子育て相談の実施
- ・ 保育園虐待防止早期発見チェックリストの活用



4. 給食実施

<給食の指導方針>

年齢区分	指導方針
0歳児	個人差に応じて授乳をおこない、離乳を進めていく中で、さまざまな食品に少しずつ慣れ食べることを楽しむ。
1歳児	食べることへの興味・関心を持ち、楽しい雰囲気の中食事を進める。
2歳児	楽しい雰囲気の中でいろいろな種類の食べ物を味わい、興味関心を持つ。
3歳児	和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わう。
4歳児	友達と一緒に食事をしたり、様々な食べ物を味わい楽しく食べる。
5歳児	食の楽しさに気付き、進んで食べようとする気持ちを育てる。

<給食内容>

- ・献立は練馬区の共通献立に基づき調理。
- ・一人ひとりの状況に合わせたきめ細やかな給食の提供。
- ・アレルギー児対応として4大アレルゲンの鶏卵、乳、小麦、大豆は代替食を提供。その他のアレルゲンは除去し提供。
- ・乳児離乳食用と幼児用の種類の献立表の他に、食物アレルギー用の献立も作成。
- ・アレルギー児は、医師の指示書（年1回以上提出）のもと個別に食事内容を十分に配慮し調理法を工夫した。
- ・月に1回、栄養士とアレルギー対象園児のいるクラス担任がアレルギー会議を実施する。
- ・アレルギー児には除去の食品を表記したトレーにて最初に配膳をすることを徹底する。
- ・適切な費用、調理法の改善に努めている。
- ・在庫確認をおこない、仕入れの無駄を防いだ。
- ・食材納品は、当日に必ず鮮度を確認する。（ただし、休日分は前日納品時に確認）
- ・食物アレルギーのある園児について個別取り組みプランを作成し保護者と面談、その後全職員で共有する。

<衛生管理状況>

練馬区の保育園給食の衛生管理に基づき、衛生管理の徹底を図る。

- ①調理従事者の健康管理、調理作業時の服装など
- ②食品の選定と納品後の衛生管理
- ③使用水の衛生管理
- ④調理作業中の衛生管理
- ⑤盛り付け時の衛生管理
- ⑥調理器具・容器などの衛生管理
- ⑦哺乳瓶および調乳器具類の取り扱い
- ⑧調理台の衛生管理
- ⑨冷蔵庫、冷凍庫の衛生管理
- ⑩食事及びおやつ衛生管理
- ⑪日常給食以外の食事（収穫物の取り扱い、調理保育の衛生管理）



- ⑫調理室の衛生管理
- ⑬調乳室及び配膳室の衛生管理
- ⑭食中毒事故（疑い）発生時の連絡体制
- ⑮衛生点検表の記入（毎日）

5. ICT の活用

(1)ITC 活用により様々な情報処理や情報の共有化を整備

- ・OA 環境の整備
- ・保護者アプリ「コドモン」の導入 2 年目。保護者がよりわかりやすく閲覧できるよう、保護者通信の発信方法を工夫。
- ・保育参加(参観)、個人面談の予約、行事参加の出欠等、アンケート機能を活用。
- ・感染症状況、不審者情報、災害時緊急連絡のお知らせ等を細やかに発信することに努める。
- ・グループウェアを活用し、職員間で情報を共有し業務の効率化を図る。
- ・法人内保育部門会議をオンラインにて実施。
- ・採用面接をオンラインにて実施。



6. 情報発信

(1)各おたよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月
保健だより	毎月
栄養だより	毎月
クラスだより	毎月（7, 8 月のみ合併号）
保護者通信	随時

(2)令和 5 年度 保護者会等実施状況

年齢	保護者会	保護者会・保育参加（参観）・個人面談
0 歳児	5/12（金） 1/24（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度から保育参加（参観）、個人面談を再開。 日頃の園生活の様子をご覧いただくとともに個人面談では、集団生活の中でのお子さまの様子、家庭での様子、子育ての悩みなどを共有し課題解決に向けたアドバイスをおこなった。 ・後期保護者会は地域集会所の集会室を借りて実施。就学や進級を見据え、どのような保育内容を展開させていくのかを具体的にお伝えする。保護者間の交流の場にもなった。
1 歳児	5/19（金） 2/1（木）	
2 歳児	5/26（金） 2/8（木）	
3 歳児	4/25（火） 2/14（水）	
4 歳児	4/18（火） 2/20（火）	
5 歳児	4/20（木） 1/18（木）	

(3)福祉サービス第三者評価令和 5 年度受審

- ・評価機関 有限会社エテルノ
- ・実施日 2023年7月
- ・アンケート調査 91 世帯 104 名が調査対象

<受審結果>

- ・総合的満足度「大変満足」44.4% 「満足」52.4%の計 96.8%
- ・心身の発達、興味や関心、食事、自然や社会との関わり、安全対策、整理整頓、接遇、病気や怪我、気持ちの尊重、プライバシーの保護、保育内容の説明、不満や要望の対応に関して 80%以上の支持を得ることができた。
- ・職員の定着、保護者対応、保護者アプリでの細やかな情報発信が特に改善点とされた。要望を真摯に受け止め、改善点の見直しを進めていく。

(4)令和 5 年度 運営委員会開催実績

保護者代表の方(5 歳児保護者)と相談の上、令和 5 年度第 1 回運営委員会は書面開催といたしました。

実施日：11 月 16 日

<園運営に対する要望>

- ・送迎をテラスからではなく、園内廊下側からに変更して欲しい。
- ・園生活の様子を細やかに伝えてほしい。
活動内容、写真の掲載を見直してほしい。
- ・職員の離職が多く不安。
- ・子どもの健康に配慮した上で行事を計画、実施してほしい。



<対策状況>

- ・夕方のお迎えは令和 5 年 11 月より園内廊下に変更し対応。
- ・コドモンで配信する活動内容は必ず園長または主任が確認することを徹底。
- ・職員の定着に向けて、保育の方向性の確認、職場環境改善を図る。
- ・熱中症対策の見直し、黒球式熱中症アラームの活用、日よけサンシェードを購入。

7. 保育の質の向上と育成

子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育をおこなうためには、職員ひとりひとりの倫理観ならびに保育園職員としての職務及び責任を理解することが求められる。

(1)内部研修

- ・保育園全体の保育の質の向上を図るため、職員ひとりひとりが保育の実践や研修等とおして保育の専門性を高めるとともに、保育内容の改善や保育士等の役割分担を見直し必要な知識や技能を身につけることを認識した上で参加。

(2)外部研修

- 外部研修に積極的に参加し専門性の向上を図る。
- 効果的な OJT、園内交換実習の実施。
「子どもひとりひとりの心に寄り添う保育」を目指し、自クラスだけでなく、他クラスの保育状況の把握、園全体の連携強化を目的として、園内交換実習を実施した。
研修の学びが実践に活かされるよう、その後も継続的なOJTの実施をおこなった。

8. 保育施設としての機能の拡充と社会貢献

(1)子育て支援・ふれあい交流実施状況

月	内容	参加人数
5月	いっしょにあそぼう	2世帯5名
6月	七夕かざりをいっしょに作ろう	2世帯5名
7月	水遊びをたのしもう	3世帯8名
9月	ふれあい遊びに参加しよう	4世帯9名
10月	ミニ運動会に参加しよう	3世帯6名
11月	観劇をたのしもう	1世帯2名
12月	クリスマスかざりを作ろう	参加なし
1月	新年こども会に参加しよう	参加なし
2月	おひなさまを作ろう	参加なし



- ふれあい給食の再開
- 11月 環境学習（スケルトン車）参加・・・小規模保育園（スマイルベリー）
- 3月 家庭的保育室訪問・・・園長・看護師

保育園で子ども達がどのように過ごしているのかをお伝えしながら、実際に室内や園庭で遊んでいただく。
また、看護師による身体測定、子育て相談を実施。
子育て支援のお知らせを掲示板に貼り、多くの方に参加していただけるよう、さらに工夫を図る。



(2)地域異年齢児交流事業

・中学生職場体験学習受け入れ

上石神井中学校	令和5年10月17日・18日	3名
石神井中学校	令和5年10月23日・24日・25日	2名
関中学校	令和5年12日・13日	3名
大泉第二中学校	令和5年6月28日・29日	2名

・保育実習受け入れ

東京保育専門学校	令和5年7月31日～8月12日	1名
東京未来大学	令和5年7月3日～7月15日	1名
日本児童教育専門学校	令和6年1月22日～2月3日	1名

(3)休日保育

練馬区に在住、認可保育園、認定こども園、地域型保育事業に在園している児童で同居の保護者がすべて就労している世帯の児童（1歳以上）を対象に休日保育を実施しています。

利用日：日曜日、祝休日（12月29日～1月3日を除く）

〈休日保育利用人数〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月
19名	15名	12名	25名	16名	25名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
24名	26名	16名	15名	24名	16名

(4)5歳児交流会

令和5年度は上石神井地区の保育園3園合同で交流会を実施。

*就学を見据え、交流を図ることで、小学校への入学に期待を持つことを持つことを目的として実施。

参加園：上石神井保育園・上石神井第二保育園・上石神井第三保育園

参加日：令和6年2月29日・3月22日

参加人数：28名（子ども24名、職員4名）

実施内容：「ドッチボール交流会」



9. 個人情報とプライバシー保護

- ・法人の個人情報管理規定に従い、個人情報保護及びプライバシーを保護し、園児、保護者、職員の情報の紛失、漏洩、改ざん等を防ぎ、情報管理に関する社会的責任を果たす。
- ・「個人情報承諾書」の提出
- ・保育参加、参観時はビデオの撮影及びカメラ撮影（スマートフォン等を含む）は控えていただいています。（運動会、大きくなった会は一定のルールのもと撮影可）。

10. 省資源への取り組み

- ・保護者アプリを導入し、書類等は電子媒体上で管理。必要な物のみ印刷し、ペーパーレス化を図る。
- ・印刷物は裏紙の使用を徹底。
- ・事業者としての処理責任を果たすため、正しい分別をして出すことを意識。

＜ゴミの分別＞

可燃ゴミ、プラゴミ、不燃ゴミ、資源回収（再利用品）、
古紙リサイクル（A紙、B紙分類）
古布リサイクル、瓶・缶・ペットボトル

11. 職員管理

(1) 職員の配置(令和6年3月時点)

職種	人数	職種	人数
園長	1名	時間職員	朝 日中保育補助 9名
主任	1名		夕方保育補助 7名
保育士	20名		調理補助 3名
看護師	1名		用務補助 2名
栄養士	1名		休日保育補助 3名
調理師	3名	講師	リズム講師 1名
用務	1名		体育指導 1名
嘱託 園医	1名		美術指導 1名
嘱託 歯科医	1名		

(2) 職員の内訳

• 雇用内容

正職員	常勤職員	時間職員	合計
25名	3名	22名	50名

• 年代別内訳

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
正職員	15	0	2	6	1	0名	0
常勤職員	0	2	1	0	0	0名	0
時間職員	3	2	2	3	9	4名	1名

• 非常勤職員内訳

職 種	有資格	無資格	合計
朝保育補助	1名	2名	3名
日中保育補助	3名	6名	9名
夕保育補助	2名	5名	7名
休日保育	1名	1名	1名
調理補助		2名	2名
用務		2名	2名
事務		1名	1名
合計	7名	18名	25名

(3)新規採用・退職者・異動者

職種	人数	年月日	備考
保育士	11名	令和5年4月1日	新規採用
調理師	1名	令和5年4月1日	新規採用
保育補助	1名	令和5年4月1日	異動（あおば保育園へ）
用務補助	1名	令和5年4月1日	新規採用
保育補助	2名	令和5年5月1日	新規採用
保育補助	1名	令和5年7月14日	新規採用
保育補助	1名	令和5年12月1日	新規採用
保育補助	1名	令和6年1月10日	新規採用
保育補助	1名	令和5年1月11日	新規採用
保育士	2名	令和6年3月31日	退職
園長	1名	令和6年3月31日	法人アドバイザーへ
保育士	1名	令和6年3月31日	異動（あおば第二保育園へ）
調理師	1名	令和5年10月31日	退職
調理師	1名	令和6年3月31日	退職
保育補助	1名	令和5年9月30日	退職
保育補助	1名	令和5年10月10日	退職
保育補助	1名	令和6年3月31日	退職

(4)職員福利厚生

区分	対象者	年回数	延べ人数	支出額
健康診断	職員	1回	13名	117,747円
細菌検査	全職員	12回	648名	0円
O-157検査	調理職員他	12回	127名	0円

(5)法人研修・内部研修実施状況

研修名	実施日	参加人数
法人内基礎研修	令和5年4月1日	14名
新入職員研修	令和5年4月6日	13名
リズム研修	令和5年5月15日	15名
プール湯遊び事前研修	令和5年6月14日～ 令和5年6月15日	19名
けいれん発作研修	令和5年6月29日	27名
情報セキュリティ研修 「子どもの主体性を育む」 プロジェクト活動の意義	令和5年7月31日～ 令和5年8月1日	27名
救命講習	令和5年8月1日	28名
嘔吐処理講習	令和5年12月14日～ 令和5年12月15日	18名
エピペン研修	令和6年1月29日	28名

令和5年度は新入職員を12名迎えたため、法人内基礎研修、新入職員研修、園児対応に関わる救急救命講習、嘔吐処理講習、プール遊び事前研修など多岐に渡る内部研修を実施し、保育の方向性の確認、園児対応の統一を図る。

法人のモットーである「品位品格を持って、利用者の最善を考える。仲間とともに。そして自分自身のために。」の理解を深め、社会人としての仕事の進め方、相手の立場を尊重する姿勢、情報共有の発信の必要性を全職員が意識し、社会人としての基礎知識習得に努めた。

(6)外部研修実施状況

研修名	研修日	参加人数
わらべうた研修	令和5年6月28日	2名
実践交流会	令和5年7月12日	1名
特別支援学級実務研修	令和5年7月14日	1名
幼保小連携研修会	令和5年7月26日	1名
発達障害の理解と支援	令和5年8月29日	1名
保育防災カンファレンス	令和5年8月30日～ 令和5年9月5日	7名
子どもを育てる読み聞かせ	令和5年9月7日	1名
幼児保育の充実を目指して	令和5年9月13日	1名
保育所での子どもの人権	令和5年9月29日	1名
質の向上に向けて	令和5年10月5日	1名
普通救命講習	令和5年10月19日	1名
練馬区危機管理研修	令和5年10月27日	3名
練馬区幼保小懇談会	令和5年10月27日	
遊びが学びになる 子ども主体の保育実践	令和5年11月6日	3名
乳児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達	令和5年11月14日	1名
乳幼児期の排尿発達とトイレトレーニング	令和5年11月21日	1名
アレルギー研修	令和5年11月24日	1名
乳児保健の留意点	令和6年1月11日	1名
アレルギー研修	令和6年1月19日	1名
実践交流会	令和6年1月29日	1名



12. 児童処遇

(1)園児のクラス編成(令和5年3月31日現在)

年齢	クラス名	人数
0歳児	つくし組	5名
1歳児	たんぽぽ組	20名
2歳児	すみれ組	19名
3歳児	もも組	22名
4歳児	きく組	18名
5歳児	さくら組	24名
合計		108名



(2)児童の健康管理

区分	対象者	年回数	実施時期
健康診断	全園児	2回	春 秋
0歳児健診	0歳児	12回	毎月
歯科検診	全園児	2回	春 冬

(3)年間入所人員状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	53
1歳	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	238
2歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	238
3歳	22	22	21	21	21	21	22	22	22	22	22	22	260
4歳	16	16	16	16	16	17	17	19	19	19	19	18	208
5歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
計	103	105	104	105	106	107	108	110	110	110	109	108	1285

(4)感染症発生実績

令和5年度 感染症発生状況実績

(単位:人)

	疾患名・クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1	麻疹(はしか)	0	0	0	0	0	0	0
2	百日咳	0	0	0	0	0	0	0
3	インフルエンザ	0	1	1	4	9	5	20
4	水疱瘡(みずぼうそう)	0	0	0	0	0	0	0

5	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0	0	0	0	0	1	1
6	手足口病		0	0	0	0	0	0
7	風疹	0	0	0	0	0	0	0
8	伝染性紅斑(りんご病)	0	0	0	0	0	0	0
9	流行性角膜炎	0	0	0	0	0	0	0
10	咽頭結膜熱(プール熱)	1	2	1	3	1	0	8
11	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0
12	9,10,11 以外の急性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0
13	突発性発疹	2	1	2	0	0	0	5
14	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	1	0	4	5
15	ヘルパンギーナ	0	9	2	1	1	2	15
16	感染性胃腸炎	0	11	8	3	1	5	28
17	16 以外の感染性下痢	0	0	0	0	0	0	0
18	異型肺炎	0	0	0	0	0	0	0
19	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0
20	伝染性膿痂疹(とびひ)	1	0	0	0	0	0	1
21	川崎病	0	0	0	0	0	0	0
22	その他	0	2	5	4	4	3	18
23	新型コロナウイルス感染症	0	3	0	3	2	0	8
	合計	4	29	19	19	18	20	109

(5)怪我・事故発生件数(18 件)

年齢	発生内容	原因
5 歳児	右目角膜糜爛	スーパーボールが目にあたる
5 歳児	右小指基節骨折	牛乳箱から転倒
3 歳児	歯牙打撲 小唇小帯裂傷	園庭玩具を押している際に転倒
4 歳児	顔打撲	バランスを崩しテーブルにぶつかる
4 歳児	右眼球結膜裂傷	友達の玩具があたる
4 歳児	右肘内障	雲梯遊びの際腕をひねる
4 歳児	前額打撲	公園で石渡りをしている際転倒
4 歳児	後頭部打撲	公園で転倒
4 歳児	頭部打撲創	公園で転倒
4 歳児	下顎部裂傷	上履きを履く際に前のめりに転倒
5 歳児	歯牙打撲	友達とぶつかる
2 歳児	口唇歯牙打撲	室内で転倒
5 歳児	右目擦過傷	友達の玩具があたる
4 歳児	上唇小帯裂創	友達の足がぶつかる
1 歳児	左手小指挫傷	玄関のドアにはさむ
4 歳児	右上眼瞼裂傷	転倒し牛乳箱があたる

3 歳児	頭部打撲	のぼり棒にぶつかる
3 歳児	下唇裂傷 歯牙打撲	リズムの際に手がすべり床にうちつける

令和 5 年度、病院を受診した怪我、事故の発生は 18 件でした。
 戸外活動中の転倒が特に多かった。戸外遊びのルールの見直し、再確認の徹底。
 子どもの遊びの見守り、職員の立ち位置、全体把握、危険個所の防止など、リスクマネ
 ジメントチームを中心に事故予防に努める。

(6)救急搬送(3 件)

年齢	発生内容	発生状況
5 歳児	痙攣	午睡中に痙攣する
5 歳児	痙攣	午睡中に痙攣する
3 歳児	熱性痙攣	発熱し、痙攣する

午睡中の園児の見守り、発熱時は必ず看護師の側で迎えを待つなど対応の徹底を
 今後も継続する。

13. 災害対策

(1)避難訓練実施状況

日付	訓練内容
令和 5 年 4 月 14 日	地震火災による出入口までの避難（基礎訓練） 土曜日保育中における避難方法の確認
令和 5 年 5 月 19 日	石神井消防署立ち合いによる火災想定訓練、消火、通報訓練
令和 5 年 6 月 5 日	延長保育中（夕 1）の地震想定訓練
令和 5 年 7 月 1 日	川の氾濫の想定訓練
令和 5 年 8 月 4 日	プール、水遊び中の地震想定訓練
令和 5 年 9 月 10 日	地震想定訓練、情報伝達訓練、引き取り訓練（保護者）
令和 5 年 10 月 6 日	散歩先での地震想定訓練
令和 5 年 11 月 10 日	第二避難場所への実地踏査、地震想定訓練
令和 5 年 12 月 8 日	朝保育中の地震想定訓練
令和 6 年 1 月 18 日	地震火災を想定した予告なし訓練
令和 6 年 2 月 16 日	園舎内に煙が充満した場合の想定訓練
令和 6 年 3 月 9 日	夕保育中の地震からの火災の想定訓練

(2)防災設備等の点検及び消防署への届出

- ①消防署査察 数年に 1 回（時期未定）
- ②点検・・・区が指定した委託業者が消防設備点検を年 3 回実施
 全体点検（昨日、外観検査を年 4 回実施）

(3)備蓄食品・災害用品整備

<備蓄食品>

(令和6年3月31日現在)

品目	数量	備考
保存水	23箱	1本2ℓ×138本
アルファ化米(わかめ)	3箱	1箱25食×2
アルファ化米(白米)	3箱	1箱25食×2
アルファ化米(白粥)	12袋	1袋40g×12
クラッカーの缶詰	62缶	1缶75g×62
LLヒートレスカレー	94食	1袋200g×94袋
アレルギー用菓子	5箱	48g×4箱

<災害用品整備>

(令和5年度練馬区より配布)

品目	数量	備考
リアカー	1	練馬区災害用品
電源装置ポータブル蓄電池	1	練馬区災害用品

